

# 第1学年 算数科学習指導案

活動日 平成14年2月16日  
 授業者 高見 明美  
 活動場所 1年2組教室(校舎1階西)

## 1. 単元名 「おおきなかず」(全15時間)

## 2. 単元について

本単元では、くり上がり、くり下がりのない2位数までの加法、減法の数のしくみ(10進位取り記数法)に基づいて計算できることをねらいとしている。

児童は、おはじきなど半具体物を操作して和が11以上の1位数どうしの加法計算や10いくつから1位数をひいて差が1位数になる減法の計算の仕方を考え、計算練習にも取り組んできた。

そこで、本単元での学習では、10のかたまりとばらを意識してブロックを操作しながら、計算の仕方を考え、計算できるようにする。そのために、授業の導入ではプロジェクタを使ってブロック図を提示し、計算の仕方を想起させる。また、終末においては、練習問題の計算の仕方を提示し、学習内容の定着をいっそう図るようにする。

## 3. 願う子どもの姿

くり上がり、くり下がりのない2位数までの加法、減法を数のしくみ(10進位取り記数法)に基づいて計算することができる。

## 4. 研究内容との関わり

**研究内容 に関わって(基礎・基本を確立するための、情報教育カリキュラムにのっとった単元指導計画の在り方)**  
 前時の復習や、まとめにブロック図を用いることで、計算の仕方を想起して計算できる支援となると考えた。

**研究内容 に関わって(基礎・基本の力をつける学習活動の在り方)**

半具体物であるブロックを全員の児童が操作することで、計算の仕方を一人一人が考える場を確保できると考えた。

**研究内容 に関わって(基礎・基本の定着を図る自己評価の在り方)**

ブロックを操作するとき口でつぶやきながら言わせたり、友達がブロックを操作するのに合わせて復唱せたりすることで、計算の仕方の理解を図ることができると考えた。

## 5. 単元指導計画

		ね ら い	主 な 学 習 活 動	自 ら 学 ぶ 姿 の 育 成
第 一 次	1     6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2位数の構成,その読み方,書き方を理解し,いろいろなものを数え,数字で表すことができる。</li> <li>・100の構成,読み方,書き方を理解し,用いることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物の個数を10のかたまりをつかって数え,数字を用いて表す。</li> <li>・位取りの板を活用して空位のある2位数を,数字を用いて表す。</li> <li>・指示された数(100未満)だけ,正しく数える。</li> <li>・100という数の構成や大きさを多面的な見方をする。</li> <li>・数表を使って,100までの数の並び方を調べ,その特徴(順列・順序)をちかむ。</li> </ul>	絵・ブロック・位取り表・数表など様々なものを用いて,2位数の構成や,読み方,書き方を理解する。
第 二 次	7  8  9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100より大きい数の構成,読み方,書き方を理解し,用いることができる。</li> <li>・2位数(簡単な3位数を含む)の系列,順序を理解し,大小を比較することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100より大きい数を(簡単な3位数)を100とあといくつという見方をして,数字を用いて表す。</li> <li>・数表を使って100より大きい数の並び方を調べ,</li> <li>・100までの数と同じ規則になっていることに気づく。</li> <li>・数直線を見て,数の大小,順序系列などを調べることができる。</li> </ul>	数表や数直線などを活用して100より大きな数の特徴に気づく。
第 三 次	10    本 時 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何十と何十の加法,減法の計算原理を理解し,計算することができる。</li> <li>・何十何と何十,何十何と1位数の加法(繰り上がりなし)の計算の原理を理解し,計算することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10を単位にして何十と何十の加法と減法の計算の仕方を考え計算する。</li> <li>・何十何と何十の加法の計算方法を考えて計算する。</li> <li>・何十何と一位数の加法の計算方法を考えて計算する。</li> <li>・何十何と何十の減法の計算方法を考えて計算する。</li> <li>・何十何と何十何の減法の計算方法を考えて計算する。</li> </ul>	前時の計算方法をもとにして今日の問題との違いに気づき,課題を理解する。 ブロック操作を自分で行い,一人一人が計算方法を考える。

6. 本時の目標 ( 14 / 15 )

47 - 20 のような減法の計算は、十の位どうし、一の位どうしを操作するとよいことに気づき、計算が正しくできる。

7. 本時の評価規準

数学的な考え方	10 や 1 などの単位 ( 十の位や一の位 ) に着目して、加法、減法の計算に慣れ親しむ。
表現・処理	何十何と 1 位数の減法 ( くり下がりがなし ) の計算ができる。

8. 本時の展開

段階	学 習 活 動	研究に関わって 資料 評価 支援
つかむ	<p>1. 前時の復習をする。 50 - 30 ..... 10 が 5 - 3 と考える。</p> <p>2. 問題がわかる。</p> <p>ゆきこさんはお金を 47 円もっていました。20 円のキャラメルを買うとのこりはいくらでしょう。</p> <p>&lt;問題を読み、キーワードを見つけて立式する。&gt; 式：47 - 20 &lt;前時との違いを見つける。&gt; ・引かれる数は何十だったのに何十何になっている。</p>	<p>プロジェクトで前時の学習内容を提示する。</p> <p>正しく立式できたか。 ひきざんの場面であることをおさえる。</p>
ふかめる	<p>3. 課題がわかる。</p> <p>47 - 20 の計算の仕方を考えよう。</p> <p>4. 課題を追求する。 ブロックや丸図を使って考える。 ・つぶやきながら ( 一人で、隣の子と ) 考え方を発表する。 ・7 はおいておいて、10 の位の 4 から 2 をひく。 ・40 から 20 とると 20 になる。 ・発表している子と一緒にブロック操作したり丸図をかいたりする。 ・一人でつぶやきながらやってみる。</p>	<p>位取り板、ブロック、丸図</p> <p>10 のまとまりに着目して操作できているか。 やり方のわからない子には、隣の子の操作の仕方やつぶやきを聞かせる。</p> <p>計算の仕方を 10 のまとまりとして説明できたか。 黒板で説明している子と同じ事を、一人一人が操作できたか。</p>
まとめ	<p>5. 学習のまとめ</p> <p>47 - 20 の計算は 1 の位はそのままにし、10 の位の 4 - 2 の計算だけをすればよい。</p> <p>6. 練習問題をする。</p> <p>63 - 40 36 - 10 85 - 70 78 - 30</p>	<p>何十 何 の計算が正しくできる。 「十の位」をひき算するとよいことを確認する。 プロジェクトで計算の仕方を確認する。</p>